

師岡佑行氏社会運動関係等資料概要

- 1: 文書群番号 092007
- 2: 文書群名 師岡佑行氏社会運動関係等資料
- 3: 出所 師岡佑行氏
- 4: 家業・役職等 初代京都部落史研究所（現京都部落問題研究資料センター）所長
- 5: 地名 尼崎市長洲／尼崎市長洲西通ほか、京都市
- 6: 行政区分 尼崎市、京都市
- 7: 歴史
師岡佑行氏は尼崎市長洲出身、長洲小学校卒業。戦後、長洲小学校の代用教員となり、教職員組合の運動に参加、その後日本共産党に入党する。しかし昭和24年（1949）10月にレッドパージを受け、長洲字寺前（現長洲中通3丁目）の自宅で学習塾を開く。
朝鮮戦争（昭和25年6月～）により『アカハタ』が発行停止となった後は、『平和と独立のために』という非合法紙を印刷・配布するなどの活動を行った。
また、立命館大学文学部（日本史学専攻）に学び、後に同大学講師となった。
『尼崎の戦後史』執筆者の一人である。
- 8: 伝来 師岡佑行氏が尼崎市長洲中通の自宅を処分するにあたり、同家で保管していた図書・史料寄贈の申し込みがあり、平成4年、史料館が師岡氏より借用、同6年に寄贈を受けた。
- 9: 史料入手先 師岡佑行氏
- 10: 点数 1,687点（目録件数319件）
- 11: 年代 明治8年(1875)～昭和56年(1981)
- 12: 構造と内容
本文書群は、昭和20～30年代における社会運動関係の機関紙誌・パンフレット類が多数を占めており、『平和と独立のために』や『球根栽培法』などの日本共産党の非公然出版物やパンフレット、縮刷版発行以前の『アカハタ』などが含まれている。当時の日本共産党を中心とした全国および尼崎での諸運動の一端をうかがうことができる。
また、師岡佑行氏が在学・勤務していた立命館大学における学生運動の資料、尼崎地域に関する資料では自主映画「鋼鉄の虹」ストーリーなどがある。さらに雑件の中には、公立高校での朝鮮語の教材なども含まれている。
- 13: 関連史料 師岡佑行氏寄贈逐次刊行物・図書(史料館所蔵図書として管理)、「東尼崎診療所管理運営問題関係史料」など
- 14: 閲覧条件 原本
- 15: 作成者 河野未央